

記入例

※提出部数は3部です。
(内容により1部となります)

提出部数については文化財課へお尋ねください。

令和 年 月 日

文化庁長官 殿

住 所 福岡県太宰府市観世音寺1丁目〇番〇号

みとめ印可

氏 名 (代表者) 太宰府 太郎



史跡現状変更許可申請書

特別史跡 大宰府跡の現状を下記のとおり変更したいので、文化財保護法第125条の規定により許可を受けたく関係書類を添え申請いたします。

対象となる史跡の名称を記入

記

1. 史跡、名勝又は天然記念物の別及び名称

特別史跡 大宰府跡

上記史跡・名勝が指定された年月日を記入

2. 指定年月日

大正10年 3月 3日 (史跡指定) 昭和28年 3月31日 (特別史跡)
昭和45年 9月21日 (追加指定) 昭和49年 6月25日 (追加指定)

3. 史跡、名勝又は天然記念物の所在地

福岡県太宰府市観世音寺四丁目498番地 他

史跡ごとの代表地番を記入
(不明の場合は空欄)

4. 所有者氏名又は名称及び住所

太宰府市
福岡県太宰府市観世音寺1丁目1番1号

5. 権原に基づく占有者の氏名又は名称及び住所

地上権等の設定がある場合に記入

6. 管理団体がある場合は、その名称及び事務所の所在地

太宰府市
福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号

7. 管理責任者がある場合は、その氏名及び住所

8. 許可申請者の氏名及び住所又は名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地

福岡県太宰府市観世音寺1丁目〇番〇号
太宰府 太郎

9. 史跡、名勝又は天然記念物の現状変更又は保存に影響を及ぼす行為を必要とする理由

居住用住宅の建て替えのため。

10. 現状変更等の内容及び実施の方法

具体的な工事内容を・面積等を記入

専用住宅、木造2階建て、瓦葺、建築面積120㎡、延床面積160㎡

11. 現状変更等により生ずべき物件の滅失若しくはき損又は景観の変化その他現状変更等により及ぼされるべき史跡、名勝又は天然記念物への影響に関する事項

住宅の建築に際しては、外壁・屋根の色等、現状の景観及び造構に影響を与えないように細心の配慮を払い施工を行う。

申請の行為(工事等)を行うことによる史跡等に与える影響を記入

12. 現状変更等の着手及び終了の予定時期

着 手 令和〇〇年〇△月〇〇日
終 了 令和〇〇年△〇月〇〇日

13. 現状変更等に係る地域の地番

福岡県太宰府市観世音寺1丁目999番地1
面 積 230 ㎡

14. 現状変更等に係る工事その他の行為の施行者の氏名及び住所又は名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地施行者の氏名

施行者の氏名又は名称 株式会社 古代住宅
代表者の氏名 古代 守
住所又は事務所所在地 福岡県福岡市中央区天神一丁目△番△号

15. その他参考となるべき事項

申請の行為(工事等)を業者等について記入
まだ決まっていない時は、『未定』と記入

添付書類

- (1) 設計仕様書及び設計図
- (2) 実 測 図
- (3) 現状変更地域の写真
- (4) 所有者の承諾書
- (5) 管理責任者の意見書
- (6) 契 約 書